

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	上峰デイサービスセンター												
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区上峰3丁目10番6号</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンター利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成12年4月 延床面積 249.79㎡ 構造 鉄骨造 地上2階建</p> <p>④事業内容 ・老人デイサービス事業(定員15人)</p>												
(3)指定管理者	社会福祉法人 明日栄会												
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度 8,370千円 令和5年度 8,370千円 令和6年度 8,370千円</p>												
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 2,852人(前年度2,747人) ・稼働率74%(前年度72.7%)</p> <p>◇業務実施状況 年度の実績は微増したが、下半期は低調が続いた。要因として9月から管理者が変更となり、外部事業所との連携を十分に行えなかった事が影響したと思われる。活動面では、積極的な外出レクの開催と、オンライン昭和歌謡コンサート等の催しが好評を得ている。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <table border="0" data-bbox="534 1547 1294 1648"> <tr> <td>害虫駆除</td> <td>年1回</td> <td>フィルター・空調清掃</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>ワックス清掃</td> <td>年1回</td> <td>消防設備点検</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>避難訓練</td> <td>年2回</td> <td>建築物定期検査</td> <td>年1回</td> </tr> </table> <p>③その他の業務 感染予防対策を継続、個別機能訓練実施(月1回PT来訪)、口腔ケア初詣、桜見物、バラ見物、買い物支援(近隣スーパー、文明堂等)、制作クッキング、各種ゲーム、納涼祭、ハロウィンパーティー、餅つき、クリスマスコンサート、劇団曼珠沙華等。</p>	害虫駆除	年1回	フィルター・空調清掃	年2回	ワックス清掃	年1回	消防設備点検	年2回	避難訓練	年2回	建築物定期検査	年1回
害虫駆除	年1回	フィルター・空調清掃	年2回										
ワックス清掃	年1回	消防設備点検	年2回										
避難訓練	年2回	建築物定期検査	年1回										

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用料金収入 32,282千円 (前年度31,543千円)</li> <li>・ 指定管理料 8,370千円 (前年度 8,370千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費 28,584 千円 (前年度32,851千円)</li> <li>・ 事務費 1,673千円 (前年度 1,632千円)</li> <li>・ 施設管理費 2,971千円 (前年度 2,897千円)</li> <li>・ 事業費 3,478千円 (前年度 2,942千円)</li> </ul>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	2月に利用者と家族にアンケート調査を実施した。利用者からは22件(回収率78.5%)、家族は18件(回収率60%)の回答を得られた。事業所の運営に対する評価は概ね良好。2名の利用者から昼食メニューと活動計画表の記載方法に改善を求める声上がり、既に対応している。
(8)その他	3月に運営推進会議を開催。事業所の運営状況や活動内容等を説明した。出席者からは機能訓練等に関する質問があり、回答している。

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
ICTの活用による効果的かつ効率的なサービスの実施	支援記録や実績等を管理するシステムを入替えた。さらに、タブレットPC等のICT機器を導入したことで業務が効率化され、生産性が向上している。
3S(整理・整頓・清掃)の取り組み	利用者が気持ちよく過ごせるよう、日々の清掃、収納場所の整理・整頓・見直し、不用品の廃棄を行った。事業所内の環境整備が進んでいる。
接遇向上の取り組み	法人でプロジェクトチームを立ち上げ、年度を通して接遇向上に対する取り組みを意識的に行った。職員の意識改善に繋がっている。

### 3 評価

#### (1) 指定管理者による評価

前年度の実績は超えたものの、近年と比較して低調。特に、下半期は稼働率の低下が続いた。要因は、年度途中から管理者が変更となり、既存の利用者や家族への心理的な配慮から事業所内の業務を優先し、外部事業所等への周知活動が不十分になった為と考察している。活動面では、感染症予防を実施しつつ、本格的に各種屋外レクリエーションを再開した。また、オンラインによる昭和歌謡コンサートへの参加も好評を得ている。

看護師による個別機能訓練の他、外部機関の理学療法士が毎月事業所を訪問する事で、生活機能向上を図る連携に力を入れている。専門職による密な関りにより、利用者の心身機能が向上し、令和7年度からはADL維持等加算Ⅰの算定が可能となった。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課: 福祉局長寿応援部高齢福祉課)

##### 総合評価 (B) ※A~D

##### 1 項目別の評価

##### (1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・感染症予防に配慮しつつ、屋外レクリエーション等の各種事業を実施し、利用者へのサービス向上に努めた点を評価した。

##### (2) 「経費の削減」に対する評価

・こまめな消灯など節電対策に努めた点を評価した。

##### (3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・ICTを活用した効率的な運営、専門職との連携による利用者の心身機能向上など、施設の適正な管理運営に努めた点を評価した。

##### 2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

※令和6年度末で指定管理終了(施設廃止)